

経営比較分析表（令和元年度決算）

北海道 江差病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	自治体職員 学術・研究機関出身
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	16	-	ド透未訓	救臨感へ災輸
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
5,267,762	12,101	非該当	10:1	

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
146	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
48	4	198
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
108	-	108

グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 令和元年度全国平均

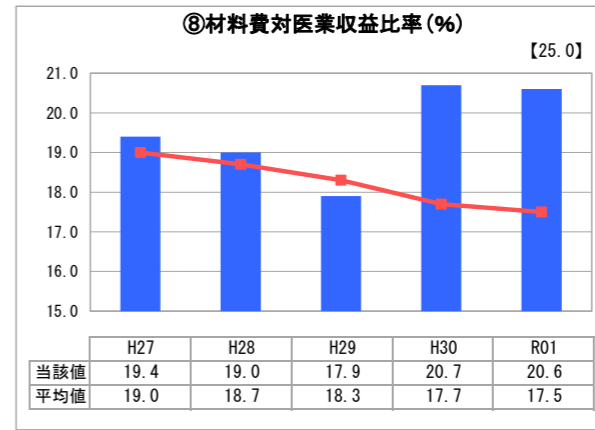
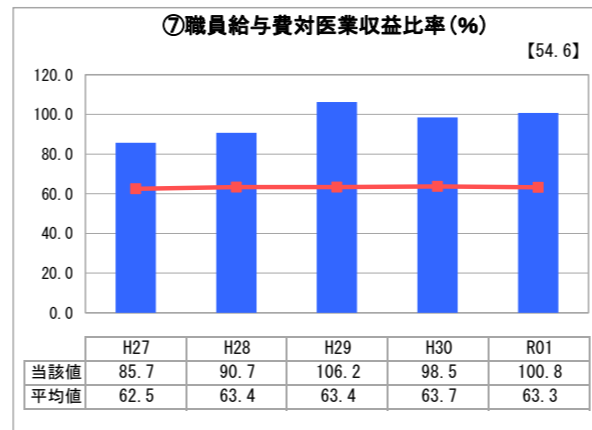
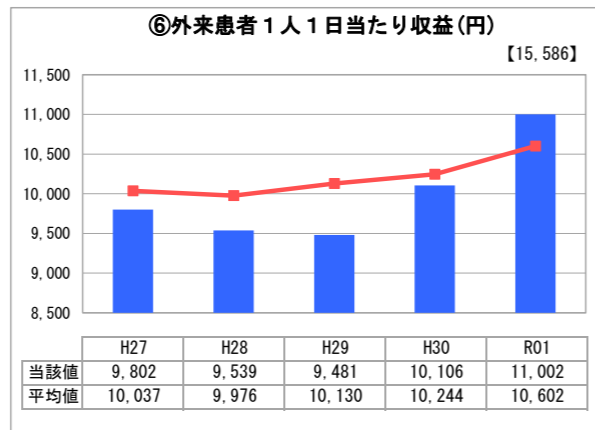
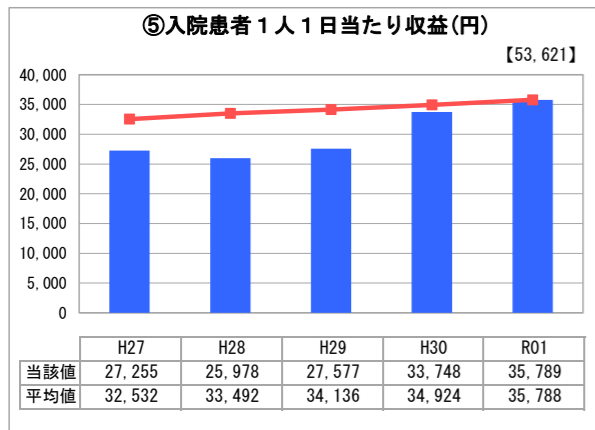
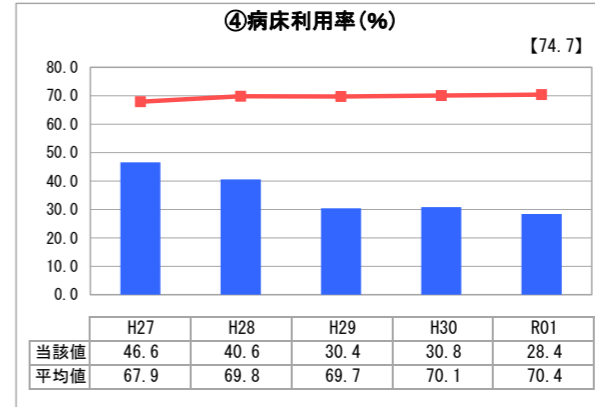
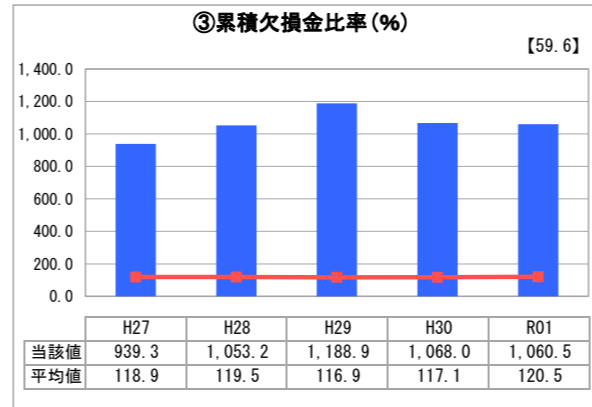
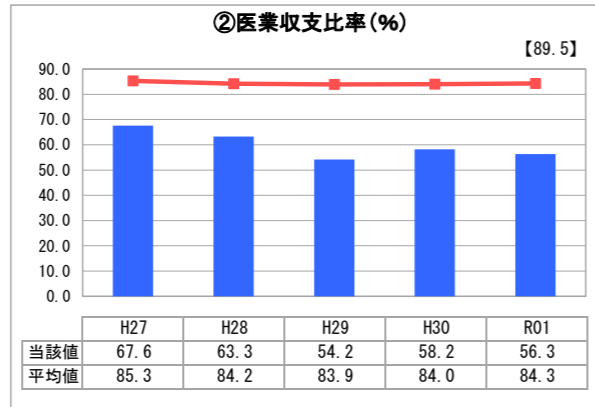
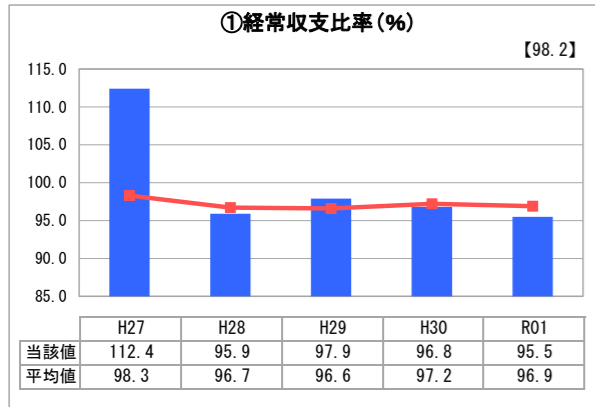
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-

1. 経営の健全性・効率性



I 地域において担っている役割

南檜山第二次医療圏における地域センター病院として、圏域で唯一の精神科医療の提供及び人工透析を実施するとともに、救急医療機関として輪番制に参画していることや、災害拠点病院の指定を受け、災害発生時にはDMAT（災害派遣医療チーム）の派遣体制を整備するなど、救急医療や災害医療の中心的な役割を担っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率については、入院患者や外来患者の1人1日当たり収益の増加があったものの、繰入金の減少等により前年度に比べて下落した。

⑥入院患者1人1日当たり収益については、平成30年度から1日当たりの入院単価の高い地域包括ケア病床が稼働したため上昇した。

⑦外来患者1人1日当たり収益については、平成30年度から整形外科の医療収益（注射料等）が増加したため上昇した。

⑧材料費対医業収益比率については、平成30年度から透析機器の増設により薬価単価の高い薬が増えたため上昇した。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率及び③1床当たり有形固定資産については、耐用年数を過ぎてからも使用しており、毎年度必要最低限の更新しかしていないため同程度で推移している。

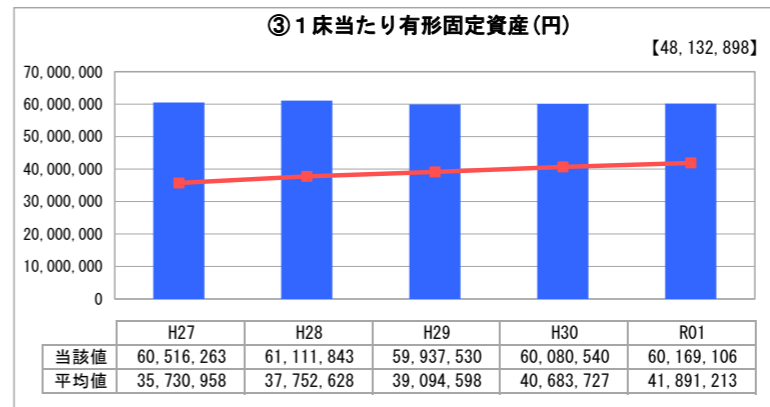
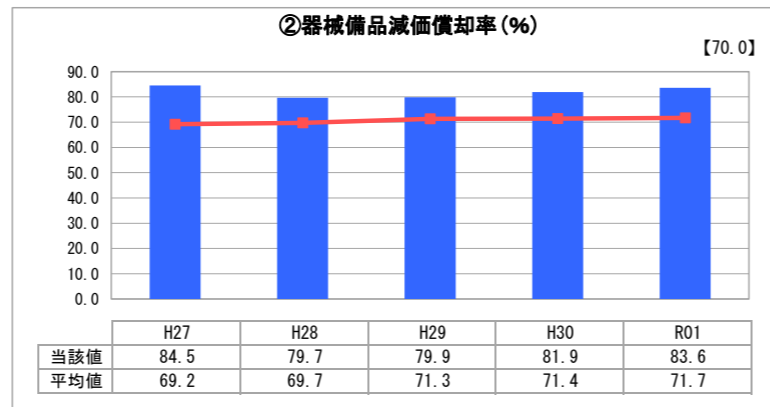
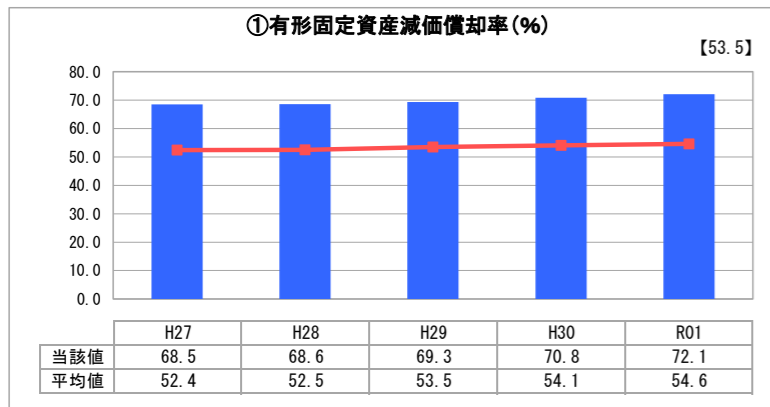
②器械備品減価償却率については、平成28年度の高度医療機器の更新により一旦下落し、その後は経年により上昇傾向にある。

全体総括

「1. 経営の健全性・効率性」の指標である②医業収支比率及び④病床利用率はやや下落したものの、⑤入院患者1人1日当たり収益及び⑥外来患者1人1日当たり収益は前年度と比較して、上昇傾向にあることから、引き続き、診療報酬請求の適正化による医業収益の確保や、圏域内において必要とされる機能の充実を図り、患者数を確保していくとともに、効率的な費用の執行が必要となる。

また、「2. 老朽化の状況」の指標である①有形固定資産減価償却率は上昇傾向にあるため、耐用年数を大幅に経過した設備等の更新を進めながら、医業収益の確保を図ることが必要となる。

2. 老朽化の状況



※ 「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

経営比較分析表（令和元年度決算）

北海道 羽幌病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	自治体職員 学術・研究機関出身
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	11	-	ド透訓	救臨へ
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
5,267,762	8,702	第2種該当	10:1	

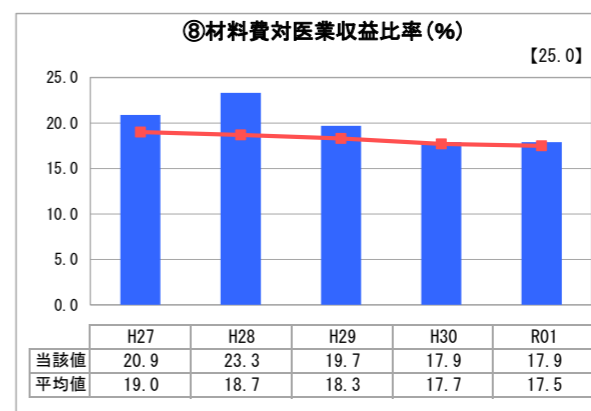
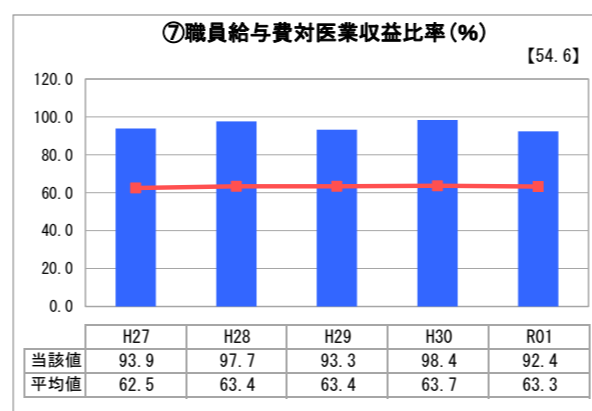
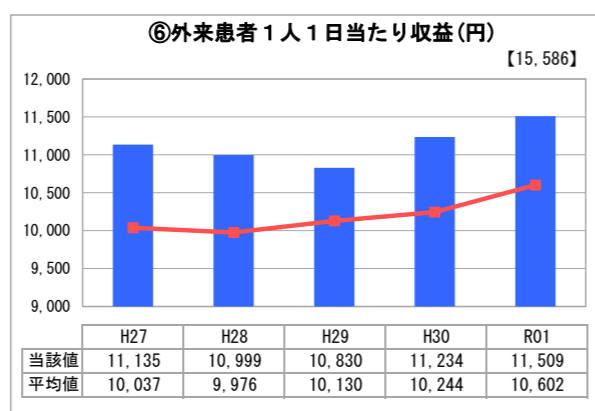
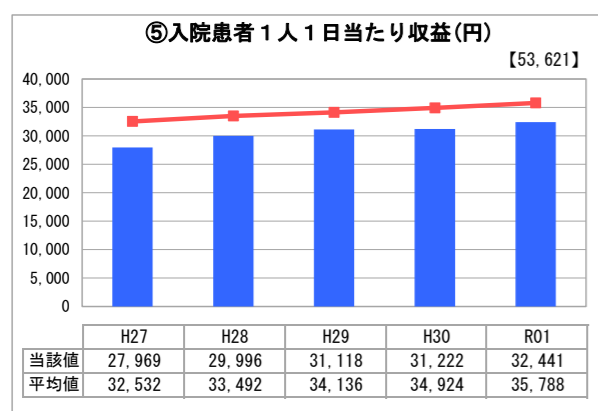
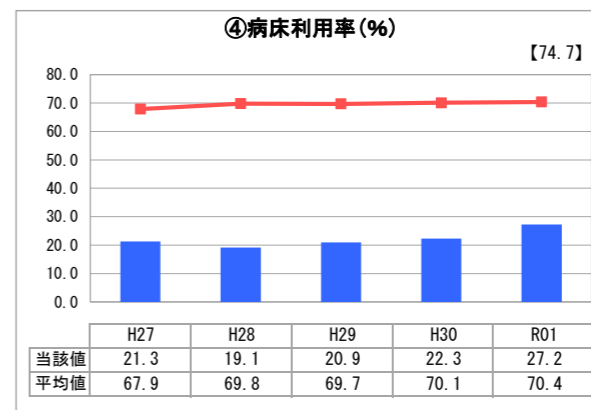
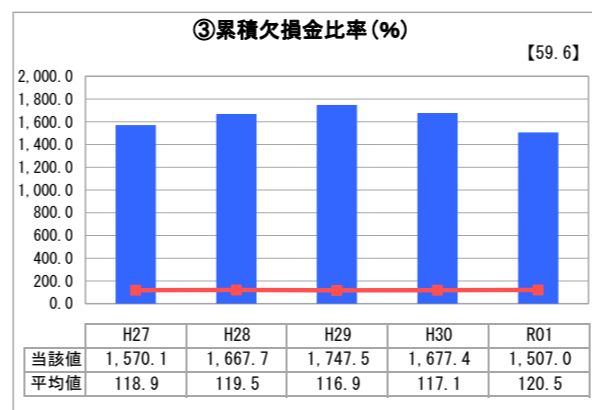
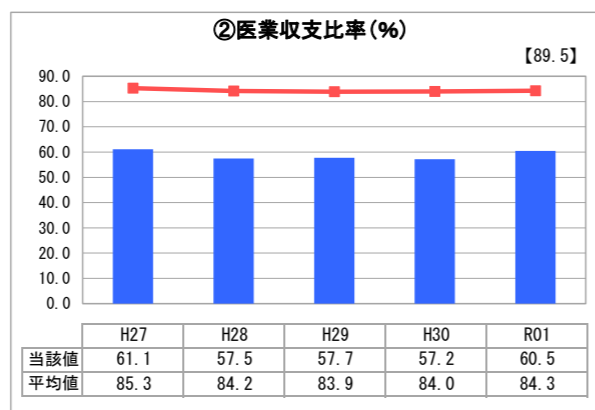
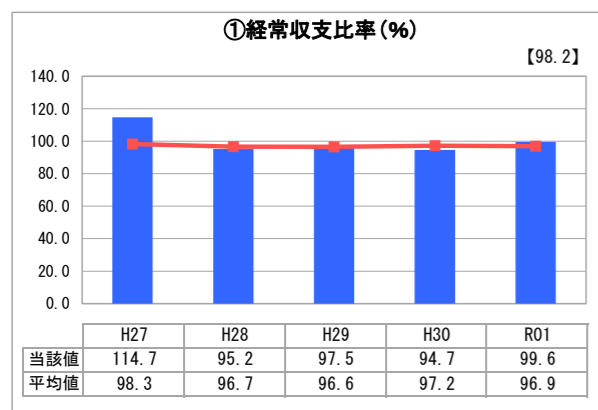
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

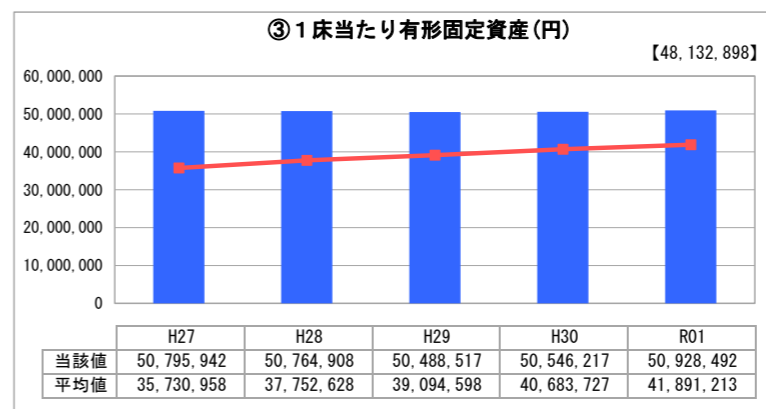
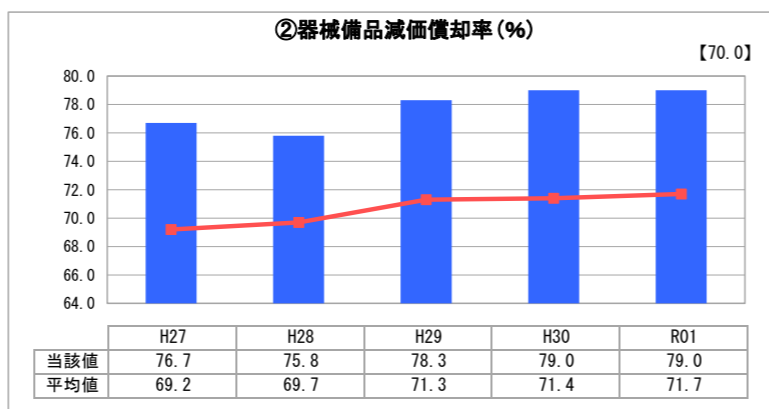
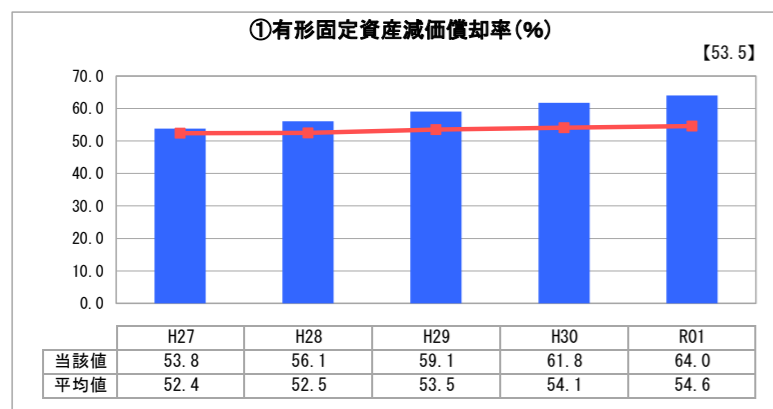
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
120	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	120
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
45	-	45

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
【	令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

留萌第二次医療圏における地域センター病院として、同一圏域のセンター病院や地域の医療機関と連携を図るとともに、人工透析を実施している。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率については、地域包括ケア病床が稼働したことによる入院患者数の増加等により、前年度よりも約0.5ポイント上昇した。

③累積欠損金比率については、医業収益の悪化に伴う純損失の拡大により、平成29年度までは上昇傾向にあったが、平成30年度からは地域包括ケア病床が稼働し、医業収益が改善したことにより下落した。

⑤入院患者1人1日当たり収益については、平成30年度から入院単価の高い地域包括ケア病床が稼働し、入院患者数も増加したため上昇した。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率及び③1床当たり有形固定資産については、耐用年数を過ぎてからも使用しており、毎年度必要最低限の更新しかしていないため同程度で推移している。

②器械備品減価償却率については、平成28年度の高度医療機器の更新により一旦下落し、その後は経年により上昇傾向にある。

全体総括

「1. 経営の健全性・効率性」の指標である②医業収支比率、④病床利用率、⑤入院患者1人1日当たり収益及び⑥外来患者1人1日当たり収益は前年度と比較して、上昇傾向にあることから、引き続き、診療報酬請求の適正化による医業収益の確保や、圏域内において必要とされる機能の充実を図り、患者数を確保するとともに、効率的な費用の執行を行う必要がある。

また、「2. 老朽化の状況」の指標である①有形固定資産減価償却率は上昇傾向にあるため、耐用年数を大幅に経過した設備等の更新を進めながら、医業収益の確保を図ることが必要となる。

※ 「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

経営比較分析表（令和元年度決算）

北海道 緑ヶ丘病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	精神科病院	精神病院	自治体職員 学術・研究機関出身
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	1	-	-	臨
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
5,267,762	13,670	非該当	15:1	

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
-	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
168	-	168
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
-	-	-

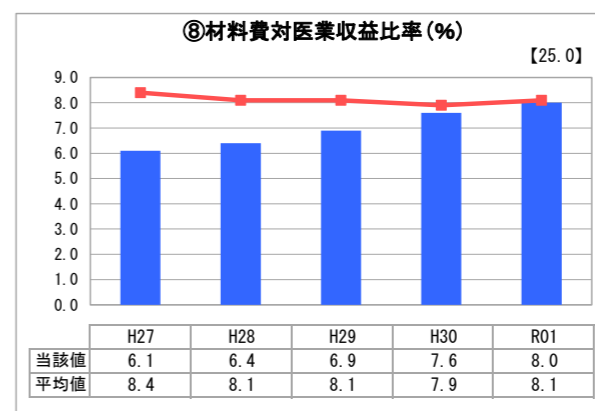
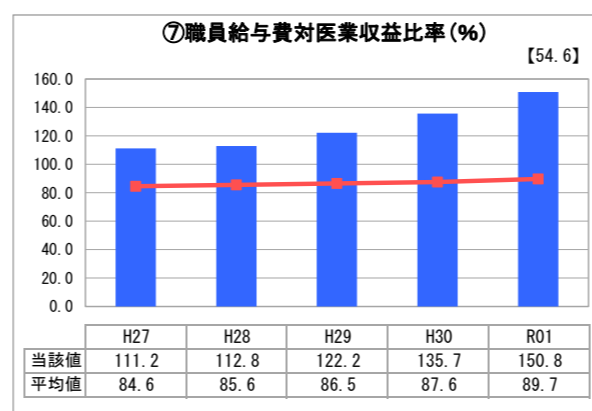
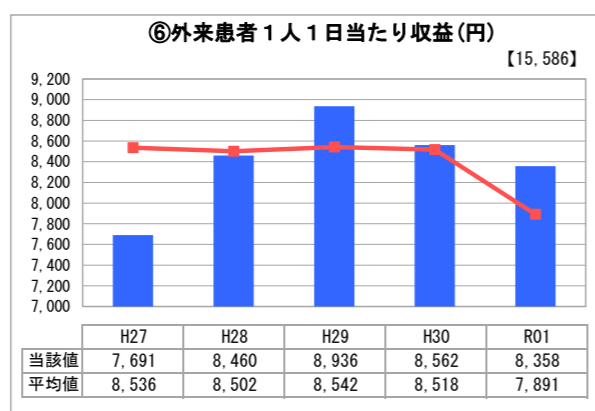
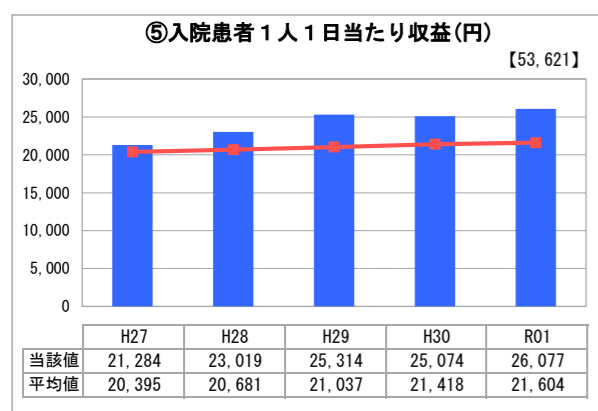
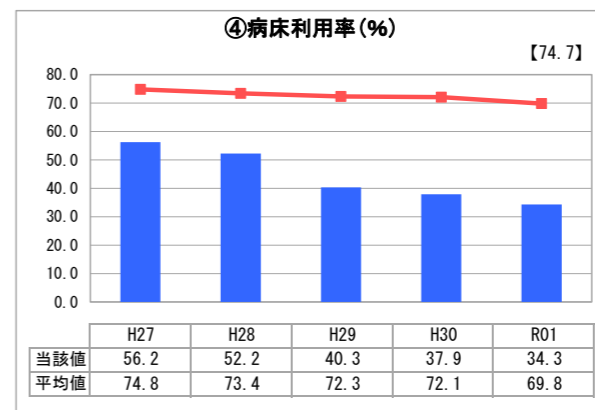
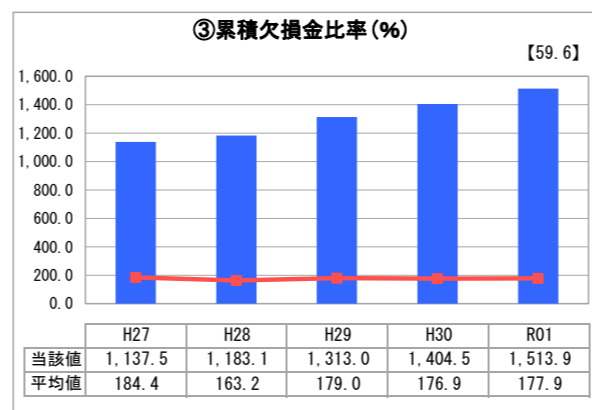
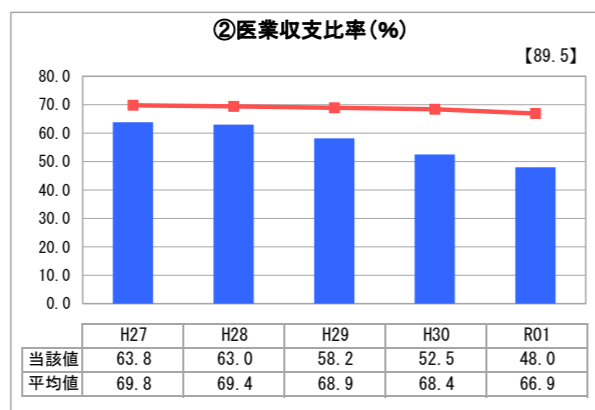
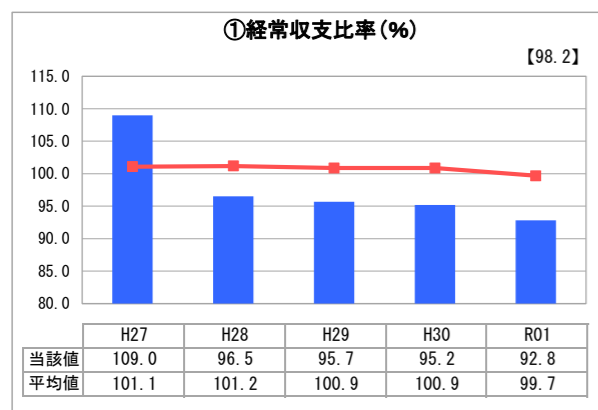
グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 令和元年度全国平均

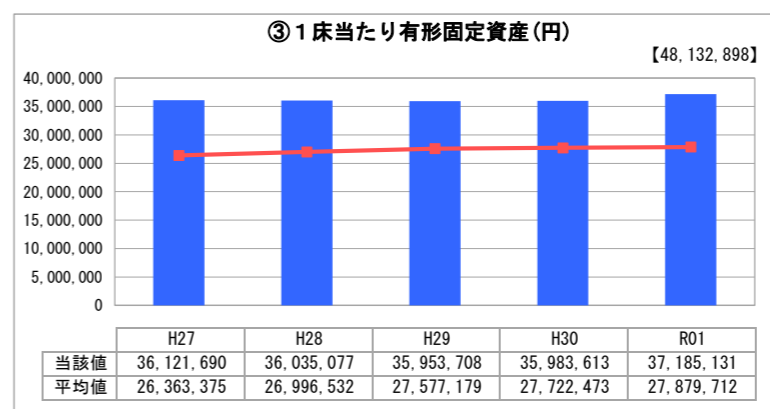
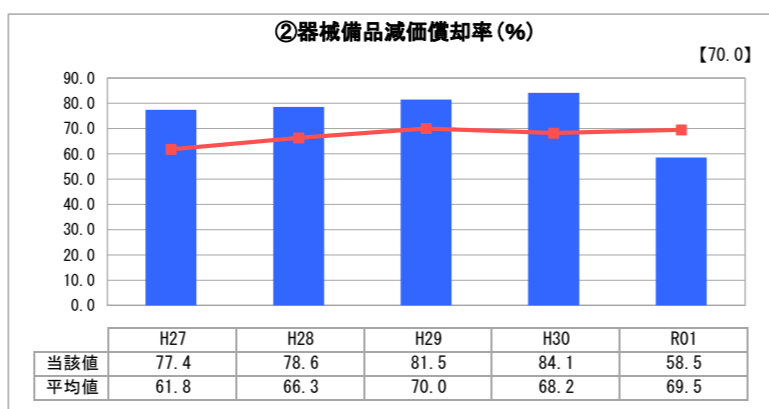
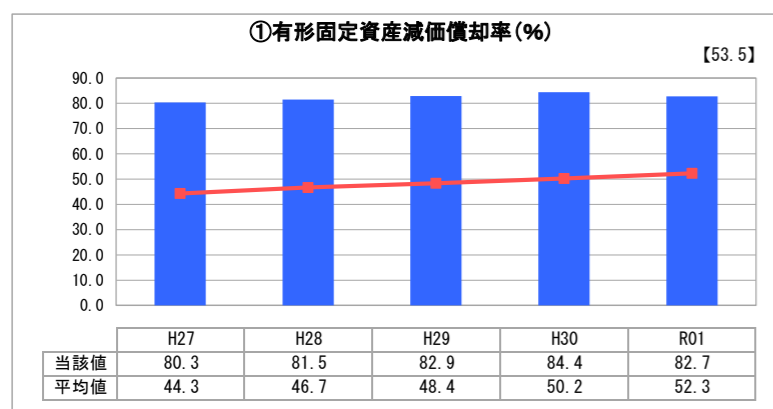
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
- 年度	- 年度	- 年度

I 地域において担っている役割

十勝第三次医療圏における精神科救急及び急性期医療の病院として、平成27年3月から精神科救急入院料病棟の運用を開始し、入院後の早期の地域生活への移行や、退院後の訪問看護等による在宅支援、圏域で唯一となる児童・思春期精神科医療の専門外来や専用病床を有するなど、圏域における中心的な役割を担っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率及び③累積欠損金比率については、平成28年度以降、地域生活への移行に伴う入院患者数の減少により比率が悪化した。

⑦職員給与費対医業収益比率については、職員給与費の増加や入院患者数の減少による医業収益の減少により上昇した。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率及び③1床当たり有形固定資産については、耐用年数を過ぎてからも使用しており、毎年度必要最低限の更新しかしていないため同程度で推移している。

②器械備品減価償却率については、平成28年度の高度医療機器の更新により一旦下落し、その後は経年により上昇傾向にあったが、令和元年度に電子カルテシステムを更新したことにより、25ポイント程度下落した。

全体総括

「1. 経営の健全性・効率性」の指標である②医療収支比率、④病床利用率及び⑤外来患者1人1日当たり収益はやや下落したものの、⑤入院患者1人1日当たり収益は前年度と比較して、上昇傾向にあることから、引き続き、圏域内において必要とされる機能の充実を図り、患者数を確保していくとともに、材料費など効率的な費用の執行が必要となる。

また、「2. 老朽化の状況」の指標である①有形固定資産減価償却率は上昇傾向にあるため、耐用年数を大幅に経過した設備等の更新を進めながら、医業収益の確保を図ることが必要となる。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

経営比較分析表（令和元年度決算）

北海道 向陽ヶ丘病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	精神科病院	精神病院	自治体職員 学術・研究機関出身
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	1	-	-	臨
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
5,267,762	7,074	非該当	15:1	

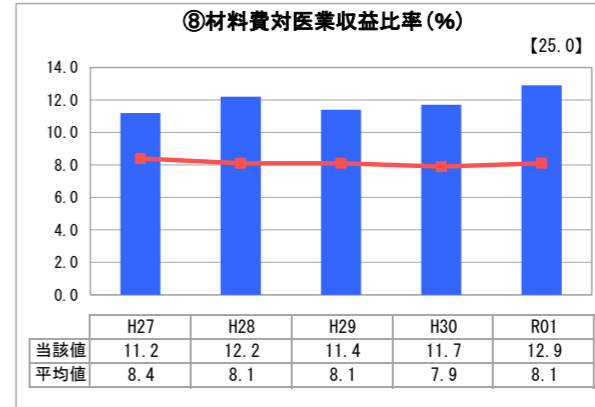
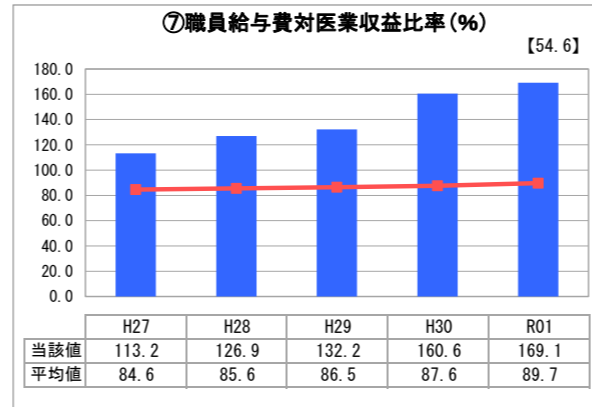
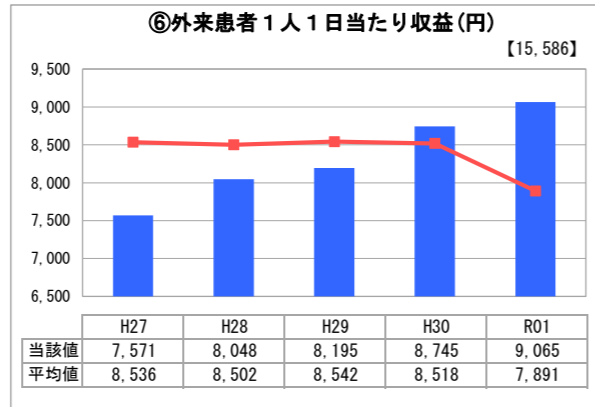
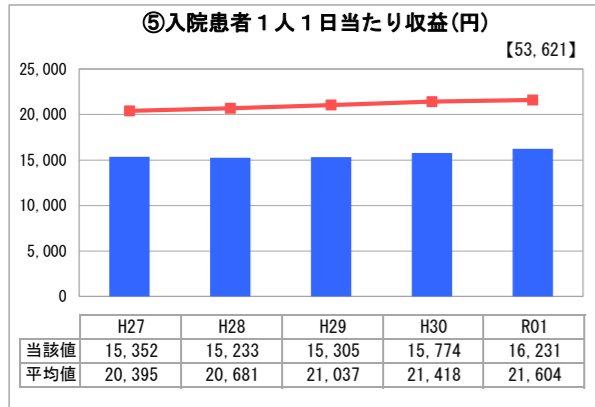
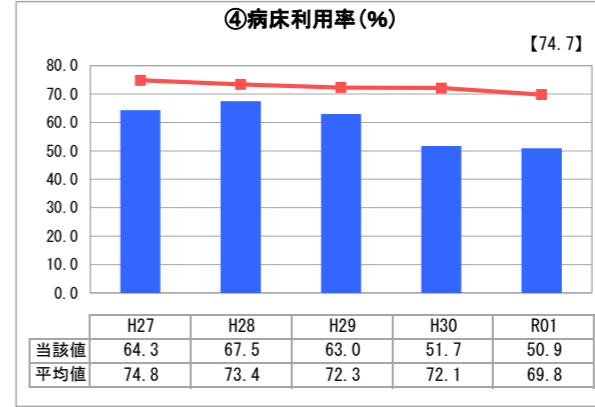
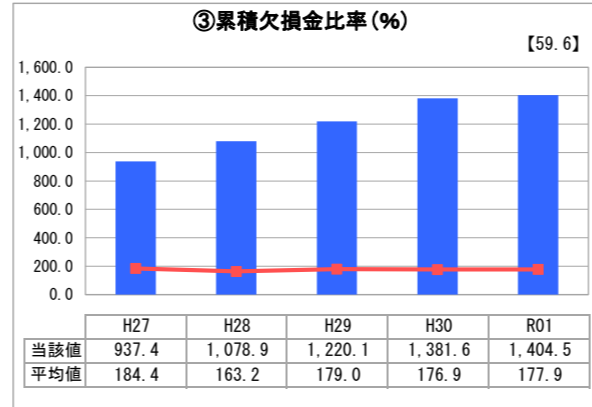
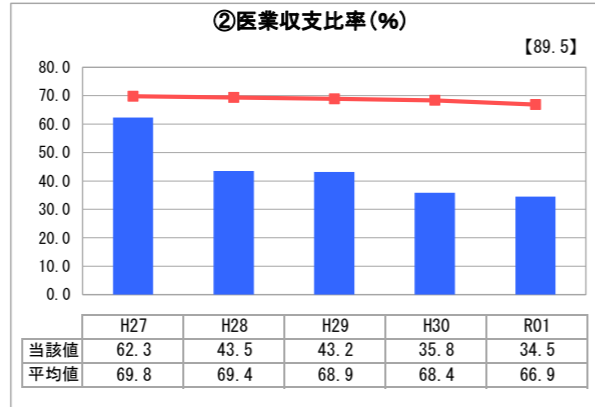
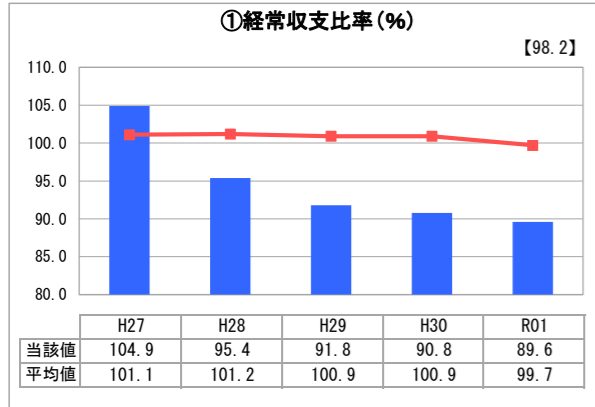
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

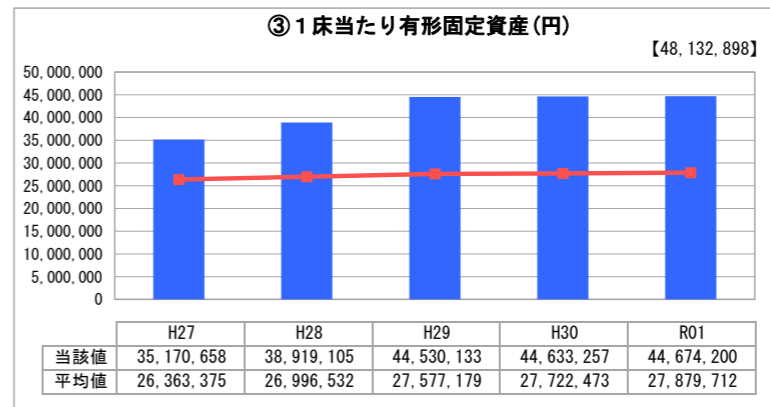
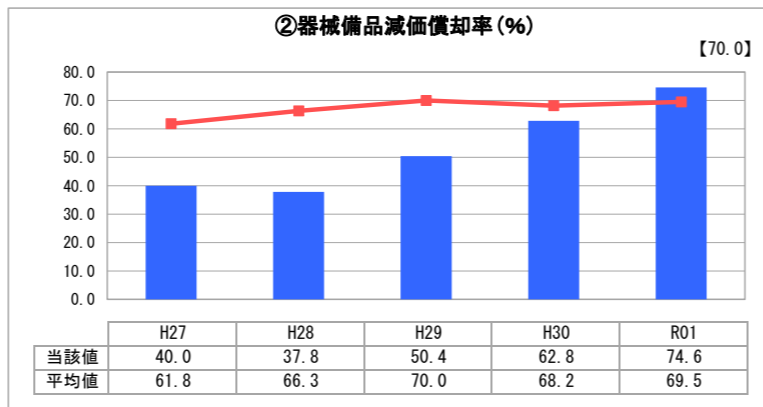
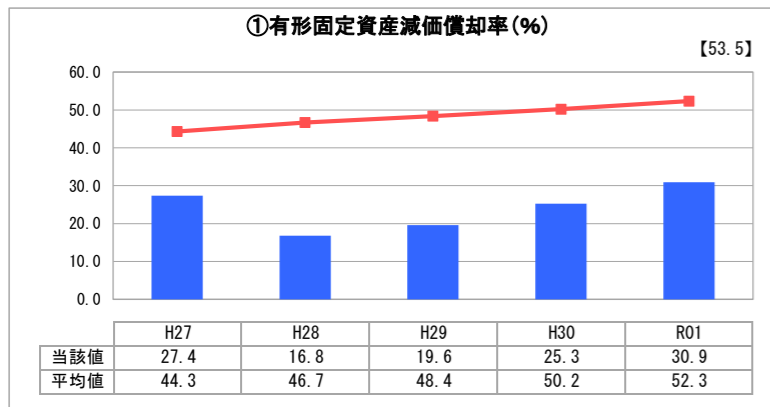
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
-	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
105	-	105
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
-	-	-

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
【】	令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

オホーツク第三次医療圏における精神科救急及び急性期医療の病院として、入院後の早期の地域生活への移行や、退院後の訪問看護等による在宅支援、平成26年度に開設した認知症疾患医療センターによる専門医療などにより、圏域における中心的な役割を担っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率、②医業収支比率及び③累積欠損金比率については、平成28年度以降、地域生活への移行に伴う入院患者数の減少により比率が悪化した。

⑦職員給与費対医業収益比率については、職員給与費の増加や入院患者数の減少による医業収益の減少により上昇した。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率については、平成28年度の病院新築に伴う固定資産を継続的に計上していることにより、上昇傾向にある。

②器械備品減価償却率については、許可病床数を減床や、医療機器等を購入したことにより、平成29年度から同程度で推移している。

全体総括

「1. 経営の健全性・効率性」の指標である②医業収支比率及び④病床利用率はやや下落したものの、⑤入院患者1人1日当たり収益及び⑥外来患者1人1日当たり収益は前年度と比較して、上昇傾向にあることから、引き続き、診療報酬請求の適正化による医業収益の確保や、圏域内において必要とされる機能の充実に回り、患者数を確保していくことが必要となる。

また、「2. 老朽化の状況」の指標である①有形固定資産減価償却率や②器械備品減価償却率は平成27年度病院新築により大幅に下落したが、平成30年度からは上昇傾向にあるため、耐用年数を大幅に経過した医療機器等の更新を進めながら、医業収益の確保を図ることが必要となる。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

経営比較分析表（令和元年度決算）

北海道 北見病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	自治体職員 学術・研究機関出身
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
指定管理者(利用料金制)	6	-	透	臨
人口(人)	建物面積(m ²)	不採算地区病院	看護配置	
5,267,762	5,378	非該当	7:1	

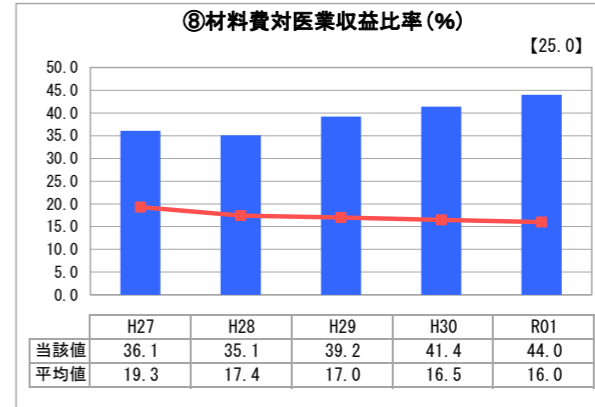
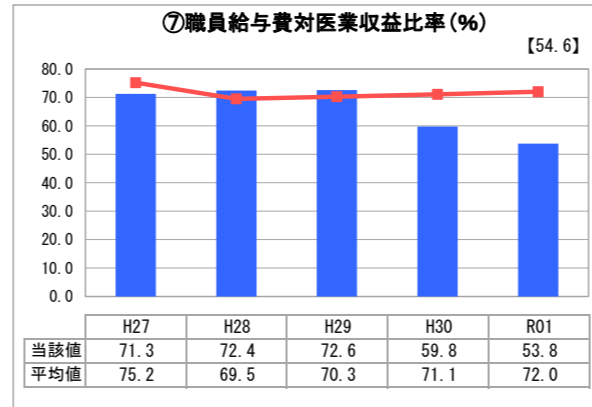
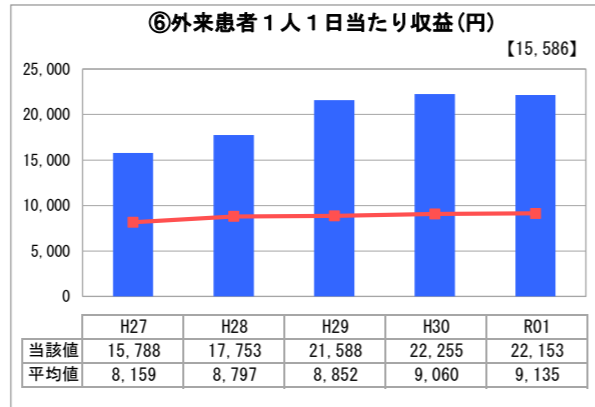
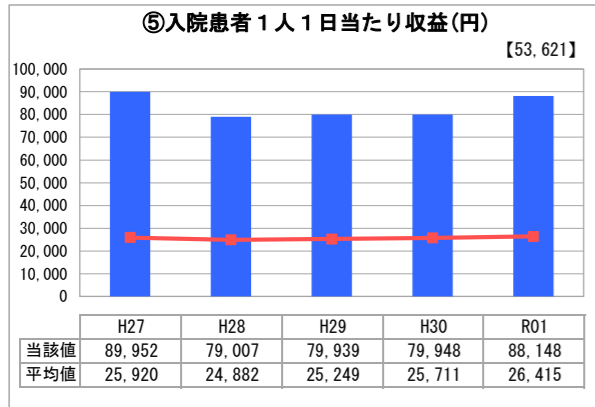
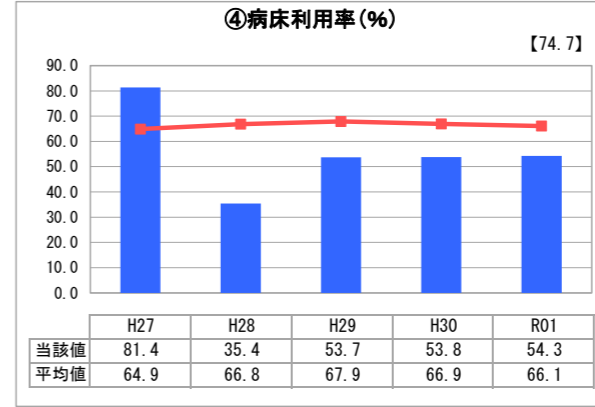
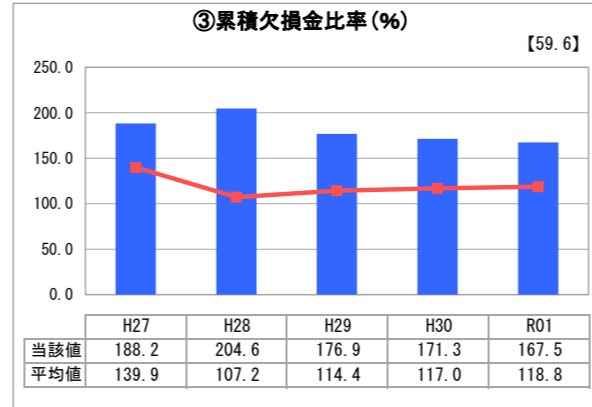
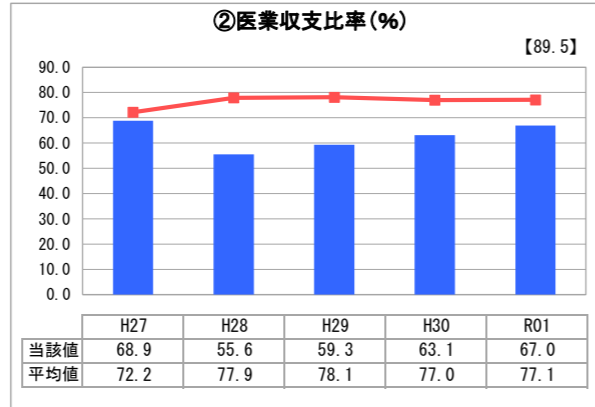
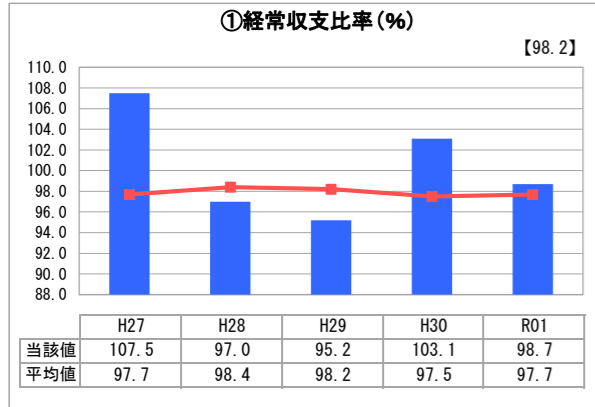
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン(放射線)診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

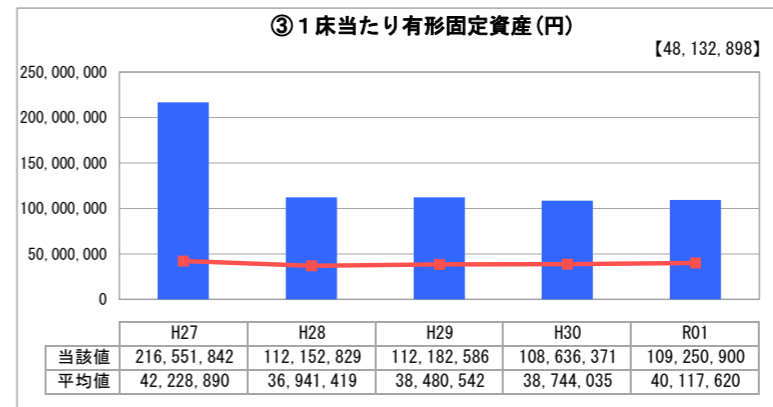
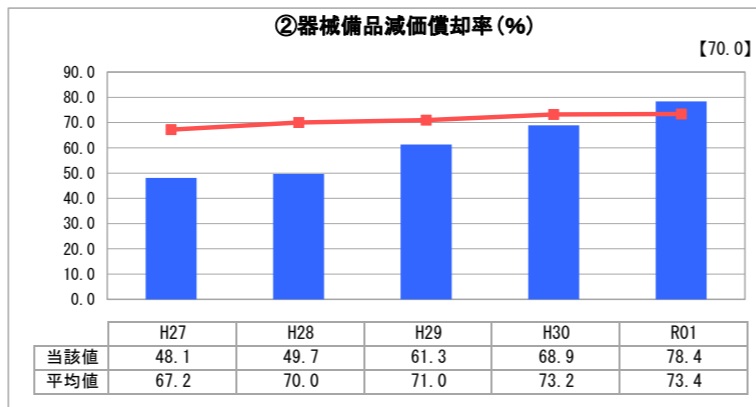
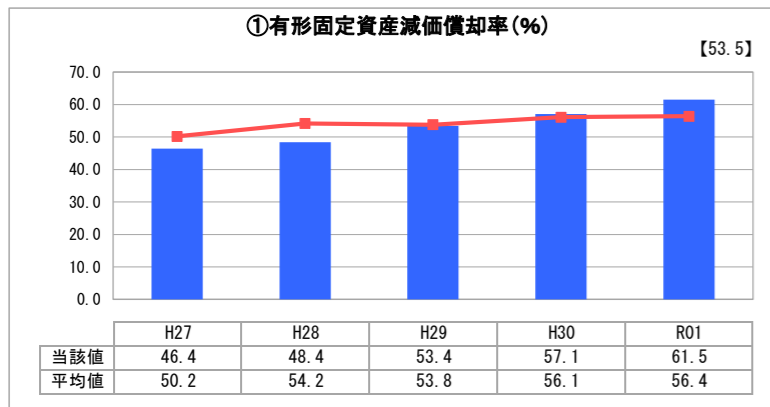
許可病床(一般)	許可病床(療養)	許可病床(結核)
70	-	-
許可病床(精神)	許可病床(感染症)	許可病床(合計)
-	-	70
稼働病床(一般)	稼働病床(療養)	稼働病床(一般+療養)
70	-	70

グラフ凡例	
■	当該病院値(当該値)
—	類似病院平均値(平均値)
【】	令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組(直近の実施時期)

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

オホーツク第三次医療圏で唯一、心臓血管外科手術を実施するなど、圏域における循環器・呼吸器疾患の高度・専門医療の中心的な役割を担っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率については、平成28年度以降、下落傾向にあったが、平成30年度から指定管理者制度を導入したことによる、管理運営コストの減少により上昇したが、令和元年度は、入院患者等の減により下落した。

② 医業収支比率については、患者数の増加による医業収益の増加により、前年度に比べて上昇した。

⑦ 職員給与対医業収益比率については、平成28年度以降は同程度で推移していたが、令和元年度は職員給与等の減少により下落した。

2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率については、有形固定資産減価償却率については、平成27年度に病院新築に伴う固定資産の計上をしている。平成28年度以降は経年により上昇している。

② 器械備品減価償却率については、平成27年度に病院新築に伴う医療機器等の購入を行っている。平成28年度以降は経年により上昇している。

③ 1床あたり有形固定資産については、平成27年度に病院新築に伴う医療機器等の購入により上昇している。平成28年度以降は許可病床数が減少したため28年から大幅に減少し、経年により同程度見込んでいる。

全体総括

指定管理者制度導入前と比較し、入院患者、外来患者数も増加しており、「1. 経営の健全性・効率性」の指標である⑥外来患者1人1日当たり収益は前年度と比較してやや下落したが、②医業収支比率、④病床利用率及び⑤入院患者1人1日当たり収益は前年度と比較して、上昇傾向にあることから、指定管理者制度による運営を継続し、引き続き、経営の健全化・効率性について検証していく必要がある。

※ 「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

経営比較分析表（令和元年度決算）

北海道 子ども総合医療・療育センター

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	200床以上～300床未満	自治体職員 学術・研究機関出身
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	16	-	I 未 訓 ガ	-
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
5,267,762	18,116	非該当	7：1	

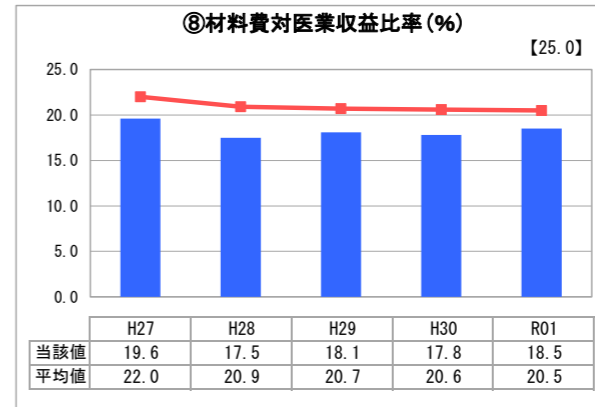
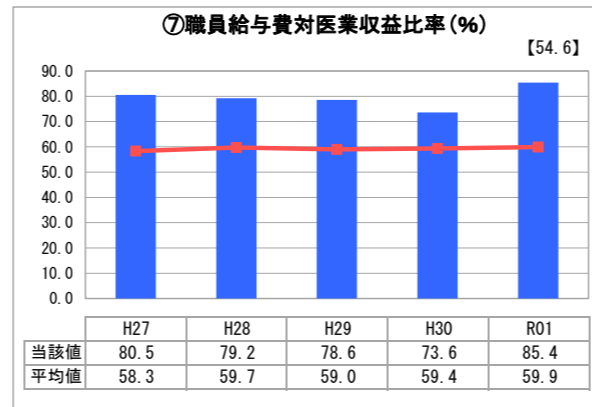
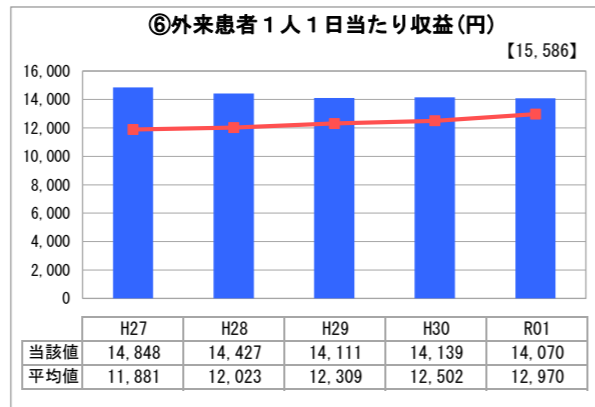
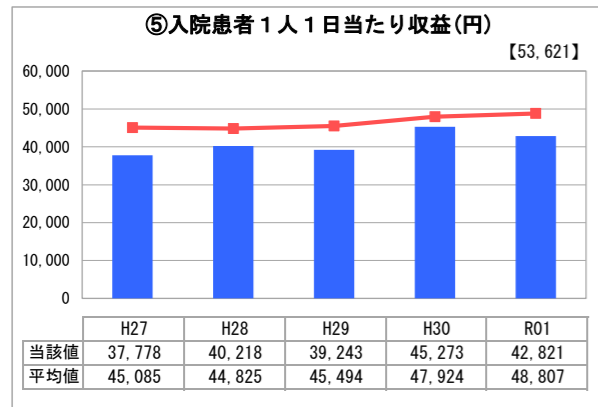
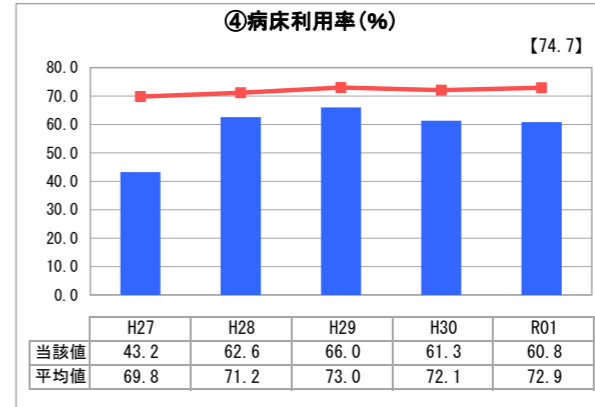
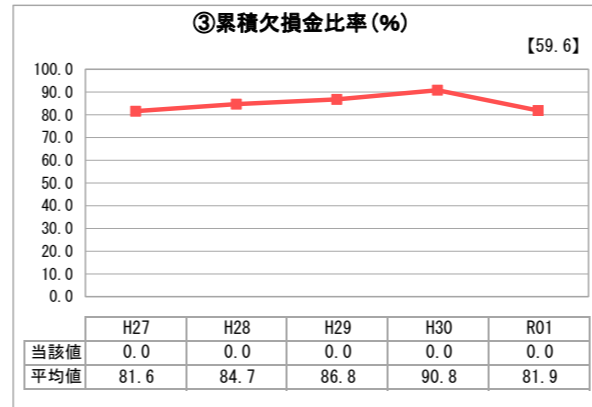
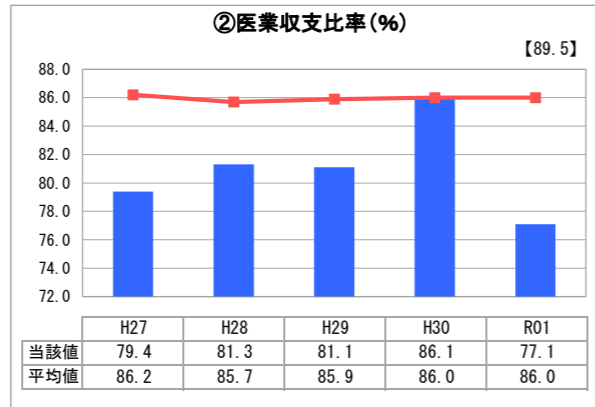
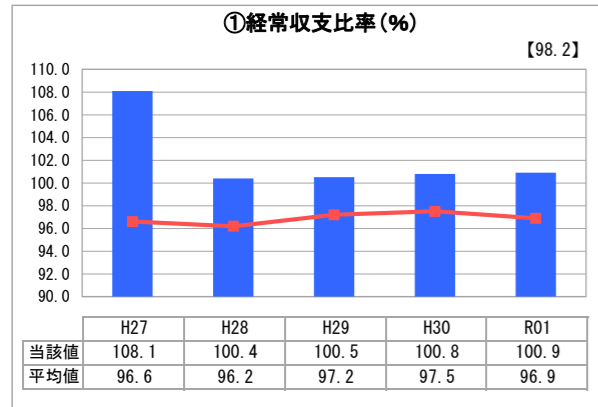
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

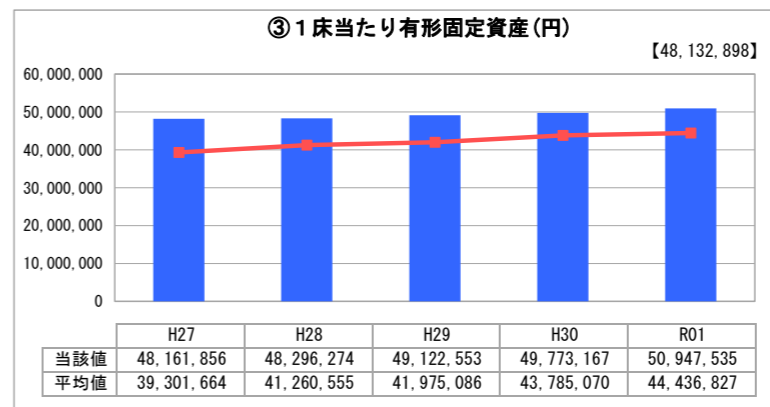
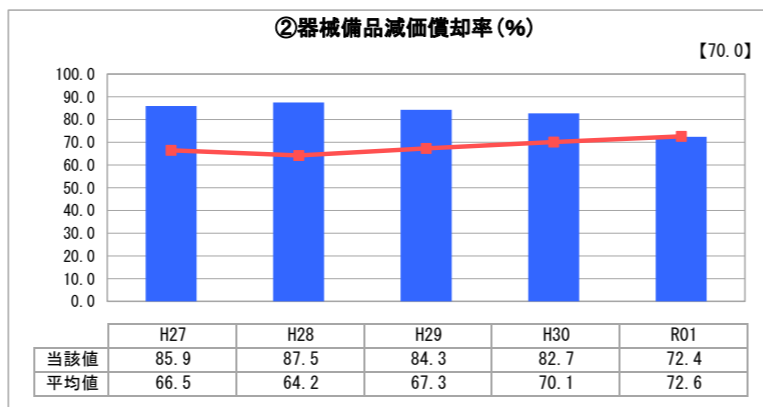
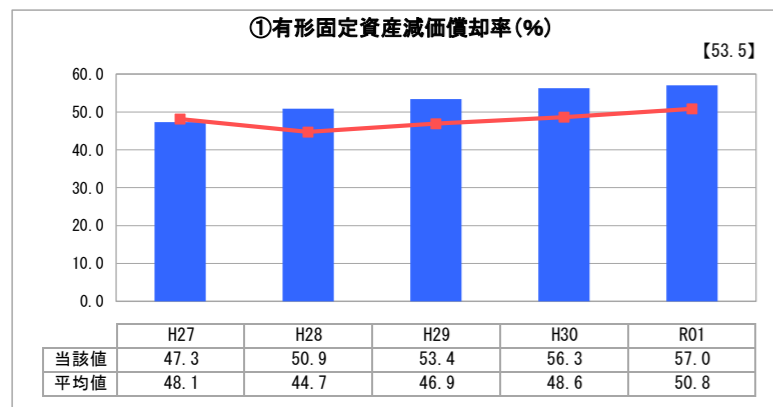
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
215	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	215
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
209	-	209

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
【	令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
- 年度	- 年度	- 年度

I 地域において担っている役割

北海道全域を圏域としており、ハイリスクの胎児や新生児に対する特殊な周産期医療を提供する特定機能周産期母子医療センター機能、先天性心疾患等への高度医療を提供する循環器病センター機能、医療的リハビリテーション等を提供する総合発達支援センター機能を有しており、医療部門と療育部門が連携した複合的な役割を担っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ①経常収支比率については、平成28年度以降、地域生活への移行に伴う入院患者数の減少により比率が悪化した。
- ②医業収益率については、NICUの工事のため、費用が大幅に増加したため、大幅に減少した。
- ⑦職員給与費対医業収益率については、医業収益の減少や職員給与費の増加により上昇した。

2. 老朽化の状況について

- ①有形固定資産減価償却率については、対応年数を過ぎてからも使用しているため、毎年度必要最低限の更新しかしていないため、同程度で推移している。
- ②器械備品減価償却率については、高度医療機器の更新が増えたことにより下落している。
- ③1床当たり有形固定資産については、センター開設後の大規模修繕や高度医療機器の更新はないことから、同水準で推移している。

全体総括

「1. 経営の健全性・効率性」の指標である②医業収支比率、④病床利用率、⑤入院患者1人1日当たり収益及び⑥外来患者1人1日当たり収益は前年度と比較して、やや下落傾向にあることから、更なる診療報酬請求の適正化による医業収益の確保や、患者ニーズに対応する体制整備を進めながら患者数を確保していくことが必要となる。

また、「2. 老朽化の状況」の指標である①有形固定資産減価償却率は上昇傾向にあるため、耐用年数を大幅に経過した設備等の更新を進めながら、医業収益の確保を図ることが必要となる。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。